

「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、公園区域中央、釜房湖に突き出した部分にある雑木林とスギ・ヒノキなどの植林地で構成された里山です。

「人と自然のふれあい」をメインテーマとして、平成26年春の開園を目指しています。これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな活動を行ってきました。

今年度は、開園を目指して、「里山遊び塾」・「里山育て塾」・「里山発見塾」の3つの活動を行っていきます。

里山地区



平成 25 年度は、6月29日に新年度ガイダンスを行い、7月からは正式にスタートしました。今後は、「里山遊び塾」を月2回、「里山育て塾」・「里山発見塾」をそれぞれ月1回のペースで、毎週活動を行っています。

里山育て塾 10月5日（土）曇りのち小雨



里山育て塾、遊び塾では開園に向けての準備を進めています。今回は炭焼き釜名人の指導を受けながら、先月完成した炭焼き窯の前の雨よけの小屋づくりを始めました。今までの活動で何度も小屋づくりを行ってきたので、ボランティアの手際もお手の物！みるみるうちに柱と梁の部分が完成しました！



また、会員活動等でも利用するので、炭焼き窯周辺をもっと使いやすくするために、周辺を整備していくことになりました。まずは、炭焼き窯の隣に、カマドをつくることに。カマドの場所を決め、場所を平らにするために、土留めをつくり、土をかきだします。炭焼き窯づくりで余った石を利用し、5箇所のカマドを作りました。

里山遊び塾 10月12日（土）曇り

里山遊び塾では、昨年度、里山地区の工事で切った材を使って、ベンチづくりを行いました。丸太を半分にし、足をつけます。テーブルもセットでつくり、居心地良く休憩ができるようにしました。一人用の丸太ベンチもたくさんつくりました。



炭焼き窯の小屋づくりも順調に進み、後は屋根をかけるだけになりました。カマドも完成し、使いやすいようにとちょっとした物などを置く台が設置されました。少しずつ形ができてくると場所のイメージがわき、「もっと広いスペースにしたい」等、夢も膨らみます。

昼は、食体験の試行活動としてアウトドアクッキングの定番である飯ごう炊飯に挑戦しました！おこげもしっかりできて大成功！

※10/26の活動は台風のため中止になりました。

開園に向けて少しずつ準備が進んでいます。

里山発見塾 10月19日(土) 晴れ

テーマは「キノコ観察会」と「どんぐりの里親」です。

●第3回会員活動

第3回の会員活動は、里山発見塾のメンバーによる「キノコ観察会」です。里山地区にあまりキノコが生えていなかったため、北地区の自然共生園でキノコ観察会をしました！「仙台キノコの会」の方の指導を受け、ボランティアがサポートしみんなでキノコ探し！



気温が高かったため、地温が下がらず、秋のキノコがまだ出ていなかったため、たくさんの種類のキノコが発見できませんでした。



自然共生園のいろいろな環境に生えたキノコを探し、採ったキノコを、同じ形や似ているものでグループにまとめ、何のキノコか、同定をしました。

●一般募集イベント「どんぐりの里親」

午後は、里山に落ちているどんぐりを拾って雑木林の苗作りをする「どんぐりの里親」を行いました。会員に加えて、一般募集のお客様も一緒に参加したイベントとなりました。

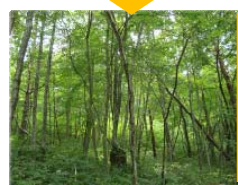
昔の里山は、燃料にするたきぎを拾ったり、炭焼きをしたり、村のみんなで管理していました。薪にする木を切ったり、肥料にする草を刈ったりすると、若い元気な木が生え、明るい雑木林になります。

しかし、今では暮らしが変わり、木を切ったり、草刈りをしなくなってしまう。そのため、木が大きくなり過ぎて、その木を切っても、新しく芽吹くことができなくなってしまう。

そこで、昔のような元気な林を復活させるために、どんぐりを拾って苗をポットで育て、大きくなったら里山に植え付ける活動をしていきます。



木が大きくなりすぎて、暗くなってしまった雑木林の木を切りました。



新しいどんぐり苗を植え、昔の里山のような元気な雑木林を再生させます！



ツリーハウス周辺で、どんぐりを探し、集めておいた牛乳パックにみんなで植え付けを行いました。水抜き用の穴が開いた牛乳パックに土を入れ、どんぐりを2~3個、土の上に置き、2cm位の厚さで土をかぶせます。

どんぐりを植える牛乳パックは、ボランティアや、公園関係者で協力し、集めた数はなんと300個以上！牛乳パックの底には水抜き用の穴をあける必要があるため、午前中からボランティアで準備をしました。



たくさんのどんぐり苗ができました！



みんなで協力し、牛乳パックすべてにどんぐりの植え付けが完了！どんぐりを植えた牛乳パックは持ち帰り、それぞれで育て、2年後の秋、里山に育てた苗を植え付けます。持ち帰れなかった苗は共生園で育てていくことにしました。

